

年表 Chronological Table of Migration

年号	浦添関係	沖縄・日本の移民関係
1868 (明治元)		日本から海外への移民がはじまる。
1885 (明治18)		日本からハワイ行き契約移民944人が横浜港を出港。
1899 (明治32)		12月、沖縄からのハワイ契約移民30人が那覇港を出港。
1900 (明治33)		1月、沖縄から出発した26人がハワイのホノルル港に到着。
1903 (明治36)		沖縄からハワイへ45人、アメリカ合衆国へ51人が渡航。
1904 (明治37)	6月、浦添から初めての海外移民4人がハワイへ渡航。この年、合計9人がハワイへ渡った。	沖縄からフィリピンへ、ベンゲット道路工事のため360人が渡航。 沖縄からメキシコへ223人が渡航。
1905 (明治38)	12月、6人がニューカレドニアへ渡航。	沖縄からニューカレドニアへ387人が渡航。
1906 (明治39)	10月に4人が、12月に2人がメキシコへ渡航。 浦添からペルーへ初渡航。	4月18日、サンフランシスコ大地震。沖縄出身者も被害を受ける。その後、沖縄出身者の多くは、ロサンゼルスに移り住む。 10月、沖縄最初のペルー契約移民36人が横浜港を出港。 この年の沖縄からの移民数は4,670人で、もっとも多かった。
1907 (明治40)	1月、1人がペルーへ渡航。その後、豊里宇志(伊祖出身)がペルーへ渡航。カナダへ2人が初渡航。	沖縄から第1回カナダ移民152人が渡航。

年 号	浦 添 関 係	沖 縄 ・ 日 本 の 移 民 関 係
1907 (明治40)	<p>明治40年の浦添間切の海外移民数と送金額が報じられる。</p> <p>ハ ワ イ：(農業) 215人 25,612,277円 ア メ リ カ：(農業) 6人 290,000円 メ キ シ コ：(農業) 31人 422,440円 カ ナ ダ：(農業) 5人 141,000円 大 洋 島：(農業) 3人 108,850円</p>	
1908 (明治41)	<p>1月、浦添間切から浦添村になる。 フィリピンへ2人が初渡航。</p>	<p>日本からブラジルへ最初の移民が笠戸丸で渡航（沖縄出身者325人を含む）。</p> <p>沖縄から太平洋諸島へ252人が渡航。</p> <p>ブラジルへ移民した沖縄出身者のなかから、アルゼンチンへ転住する人が出る。</p> <p>日米紳士協約により、日本政府が、アメリカ合衆国への移民を制限する。</p>
1913 (大正2)		<p>沖縄からアルゼンチンへ14人が渡航。</p> <p>日本政府、沖縄出身者のブラジルへの移民を制限する。</p>
1915 (大正4)	<p>1915（大正4年）末現在、浦添村出身の海外在留者数は394人、送金総額は9,190円。</p>	<p>沖縄から旧南洋群島への移民が始まる。</p>
1917 (大正6)	<p>浦添からブラジルへ初渡航。この年合計81人がブラジルへ渡った。</p>	<p>沖縄出身者のブラジルへの移民制限が解除される。</p>
1919 (大正8)	<p>1人が北米へ初渡航。</p>	<p>沖縄からボリビアへ1人が渡航。 沖縄出身者のブラジルへの移民が再び制限される。</p>
1924 (大正13)		<p>5月26日、アメリカ合衆国、「排日移民法」公布。</p>

年号	浦添関係	沖縄・日本の移民関係
1928 (昭和3)	ハワイ浦添村人会結成。	
1931 (昭和6)	1人がアルゼンチンへ初渡航。	
1934 (昭和9)	ペルー浦添同志会結成。	
1935 (昭和10)	12月末現在の浦添村出身の海外在留者は1,124人、植民地在留者は198人、県外在住者は454人。	
1940 (昭和15)	4月、1人がハワイから母県視察観光団として沖縄へ来る。	ペルーで排日暴動が起きる。
1941 (昭和16)	11月、1人がハワイからの引揚船で帰国。	太平洋戦争爆发、海外移民が中断する。
1942 (昭和17)	7月30日、ハワイ浦添村人会の解散広告が出される。	
1945 (昭和20)		8月15日、終戦。
1946 (昭和21)		11月29日、ハワイで「沖縄衣類救済運動委員会」がつくられる。 6月23日、ロサンゼルスで「在米沖縄救援連盟」がつくられる。
1947 (昭和22)	4月22日、5月24日、6月17日、ハワイ村人会より浦添小学校へ学用品が届く。	ハワイで財団法人「沖縄救済更生会」がつくられる。
1948 (昭和23)	3月10日、ハワイ沖縄救済会より浦添小学校へノートが届く。	アルゼンチンへ33人、ペルーへ1人が、沖縄から戦後初の移民として渡航。 9月27日、ハワイ連合沖縄救済会から豚500頭余りが沖縄へ届く。
1949 (昭和24)	3月3日、ハワイより浦添中学校へノートが届く。 ブラジルとメキシコへ戦後初の移民が渡航。	ポリビアで「沖縄戦災民救援会」がつくられる。
1950 (昭和25)	2月、ハワイ村人会より浦添小学校と浦添中学校へ学用品が届く。	

年 号	浦 添 関 係	沖 縄 ・ 日 本 の 移 民 関 係
1950 (昭和25)	10月21日、ハワイ村人会より浦添小学校へオルガン1台、柱時計1個が届く。	8月3日、沖縄からアルゼンチンへ呼び寄せ移民100人余りが出発。
1952 (昭和27)	4月21日、ペルー村人会より浦添小学校へ義援金26,012円が送られる。	
1953 (昭和28)	11月30日、ブラジル在浦添村人会より教育復興資金が送られる。	
1954 (昭和29)	6月9日、ボリビア移民壮行会を開催。	6月、沖縄からボリビアへ最初の計画移民が渡航。
1957 (昭和32)		8月、ボリビア移民、第一オキナワ移住地へ移り住む。
1958 (昭和33)		3月19日、沖縄からボリビアへの計画移民221人、ブラジルへの呼び寄せ移民15人、アルゼンチンへの呼び寄せ移民11人が出発。
1959 (昭和34)		ボリビアに第二オキナワ移住地が創設される。
1960 (昭和35)	10月24日、ボリビア移住者募集懇談会が開かれる。	
1961 (昭和36)		ボリビアに第三オキナワ移住地が創設される。
1965 (昭和40)		5月、ハワイ移住65周年式典。沖縄県海外協会が「四海兄弟」の記念碑をハワイへ贈る。
1966 (昭和41)	伊祖出身でペルーに住む豊里陳貞が浦添村社会福祉協議会に20ドルを寄付。	
1967 (昭和42)	宮城出身でメキシコから帰国した野原林助が浦添村社会福祉協議会に10ドルを寄付。 伊祖出身でハワイから帰国した銘苅カメが浦添村社会福祉協議会に10ドルを寄付。 11月4日、城間出身でペルーに住む与座嘉目が浦添村社会福祉協議会に15ドルを寄付。	

年号	浦添関係	沖縄・日本の移民関係
1968 (昭和43)		ボリビアの第一オキナワ移住地、洪水のため大被害。
1970 (昭和45)	7月1日、浦添村から浦添市になる。	
1973 (昭和48)	3月4日、北米沖縄県人会から桜の苗木300本寄贈、伊祖城跡公園に植樹。	
1985 (昭和60)	ブラジル浦添市郷友会結成。	6月14日、沖縄県とハワイ州が姉妹都市になる。
1988 (昭和63)	南米移住者子弟研修生受け入れ事業がはじまる。	
1990 (平成2)		6月、入国管理法改正。南米からのデカセギが増える。
	8月28日、第1回「世界のウラシーンチュ歓迎会」開催。	8月、第1回「世界のウチナーンチュ大会」開催。
1995 (平成7)	11月14日、第2回「世界のウラシーンチュ歓迎会」開催。	11月、第2回「世界のウチナーンチュ大会」開催。
1998 (平成10)		ボリビアにオキナワ村が創設される。
2000 (平成12)		1月、ハワイ移住100周年記念式典。
2001 (平成13)	11月2日、第3回「世界のウラシーンチュ歓迎会」開催。	11月、第3回「世界のウチナーンチュ大会」開催。
2004 (平成16)		8月、ボリビア移民50周年記念式典。
2006 (平成18)		1月、ペルー移住100周年記念式典。
	10月13日、第4回「世界のウラシーンチュ歓迎会」開催。	10月、第4回「世界のウチナーンチュ大会」開催。
2008 (平成20)	アルゼンチン浦添市民会結成。	8月、ブラジル・アルゼンチン移民100周年記念式典。
2011 (平成23)	10月、第5回「世界のウラシーンチュ歓迎会」開催。	10月、第5回「世界のウチナーンチュ大会」開催。

浦添市立図書館作成